

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年10月16日

【評価実施概要】

事業所番号	2770700876
法人名	有限会社 老蘇さん
事業所名	グループホーム老蘇さん
所在地	河内長野市木戸西町2丁目8番20号 (電話)0721-52-2110
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 9月 29日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 2月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6人
職員数	12人	常勤	6人, 非常勤 6人, 常勤換算 6.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造・一部ブロック 造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	約23,000円	
敷金	有()円 ④			
保証金の有無 (入居一時金含む)	⑤ (180,000円)	有りの場合 償却の有無	⑤ / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,270円			

(4) 利用者の概要 (平成 19年 8月 25日現在)

利用者人数	6名	男性	1名	女性	5名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 90歳	最低	74歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	寺元記念病院、大谷整形外科、高安歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者は常に利用者が主役であることを意識しており、「のんびりとし温もりのある、誰にとっても居心地のよい場所」を理念として明示し、職員にも浸透しています。近隣の方々がグループホームの庭や畑の手入れを手伝ったり、利用者に向の新鮮な野菜を食べてもらうことや、季節を感じてもらえるように調理に工夫をする等、食事面でも楽しめるよう支援しています。職員が休日にも気軽に立ち寄るようなアットホームなグループホームで、利用者が見せる穏やかな笑顔の中にも日頃のホーム内のケアの良さが伺えます。そのような職員のケアに刺激を受け、ヘルパーの資格を取得し、介護の勉強を続けている家族の方もいます。「家庭的な雰囲気」が、老蘇さんでは自然で当たり前のものになっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回外部評価で示された事項である理念の明示は掲示板に掲げられるようになりました。また利用者が食事の際に使用するマグカップも個人別になり、緊急時対応等の研修にも積極的に参加するようになりました。さらに、研修レポートをまとめ、職員間で情報を共有できるようになっています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、職員全員で取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の規定策定しており、利用者の家族、市役所職員、自治会長、ホーム職員でメンバー構成し会議を行っています。地域との関わりについても相談し、今後の取り組みについても記載があります。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会は多く、面会時には何でも相談できる雰囲気があり、家族は利用者のケース記録を見ることができるので、日々の暮らしがよくなりました。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地元自治会に入っており、祭りの準備に職員も参加しています。散歩途中でお花を頂いたり、庭や畑の手入れに近隣の方々が関わってくださるなど、地域との連携はできています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念はホームページやパンフレットに明示しています。家庭的な環境のもと個性を尊重しながら、残存能力の維持を図ることと、地域社会や家族と積極的に交流をすることを柱に「のんびりと温もりのある、誰にとっても居心地の良い場所」を理念としています。変化に応じ見直しも可能です。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は施設の掲示板にも明示してあります。管理者や職員に理念が浸透しているため、利用者は「のんびりと温もりのあるゆったりとした心地よい居場所」があり、表情も穏やかで安心した生活を送っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域住民の一人として、自治会に加入し、職員は祭りの手伝いも行っています。近隣の方から、手作りのピアノカバーやコースターを頂いたり、畑や庭の手入れの手伝いをしてもらったりする等、地域の方々の応援に支えられています。また散歩の途中でお花を頂くこともあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と職員は、外部評価の意義を理解しており、前回の評価で、すぐに改善できる箇所を迅速に改善へ向けて取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定や規約が明文化されています。メンバーには自治会会長・市役所職員・家族代表・職員が参加し、地域に開かれた誰でも立ち寄れるホームにするために話し合われており、サービス向上等について、事業所内での取り組みが記載された実施記録もあります。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者は決まっており、いつでも気軽に相談できています。事故報告書も作成し、市に報告するようになっています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りの発行はありませんが、毎月定期的に家族へ会計報告をする際に、利用者の状況を報告しています。利用者家族の面会時、ケース記録を見てもらい日々の暮らしぶりや状態を理解してもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会は多く、職員とも気軽に話をしています。会議に家族も参加するなどしています。家族も介護について積極的に勉強しようと、ヘルパーの資格を取得された方もいます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設当時より、退職者はほとんどいません。家族や利用者と職員は馴染みの関係ができています。職員はホームのことを自分の家のように思い休日にもよく様子を見にきています。管理者は異動による影響への配慮を心得ています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は「緊急時対応」「認知症」「感染症」はもちろん「高齢者虐待」「糖尿病」「塩分」「肺炎」「心不全」「小規模多機能の暮らし方とケア」等多くの研修を受けており、出席職員はレポートを提出しています。また会議の際、伝達研修を行い、全職員で情報を共有しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	河内長野市ケアネットワーク交流会や河内長野市のグループホーム交流会に参加しています。大阪認知症高齢者グループホーム協議会にも加入しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の家に訪問し、状態を把握するとともに、家族と利用者も納得して入居してもらえるように説明しています。今後の利用者については、デイサービスの利用や、おやつと一緒に食べる等、少しずつホームに馴染んでから、入居できるようにと考えています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は家族の一員として、洗濯物たたみ、調理の手伝い、食器拭き、生協の品出し、お仏壇への仏飯運び等、それぞれに役割があります。職員は利用者をととても大事にし、共に支えあう関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の面会も多く、家族の話や利用者の日々の生活から利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望をしっかりと聞き取り、記録しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式のアセスメントシートで過去の生活歴を把握し、それに基づいた介護計画書を作成しており、また利用者のサインも得ています。今後、職員全員で利用者の思いや家族の意向を把握し、介護計画をたてる予定です。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	アセスメントは入居時にのみ行われていません。その後モニタリング・カンファレンスが行われ、介護計画はその都度見直しを行っています。3ヶ月ごとの介護計画を利用者一覧表にまとめ、職員はケースファイルを取り出さなくてもすぐに各利用者確認できるよう工夫しています。	○	モニタリング・カンファレンス・見直された介護計画作成は、丁寧に実施されていますが、見直し時のアセスメントの実施が求められます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	38	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、家族の要望に応じて通院や外出などはホームの車を利用し、柔軟な対応をしています。また、デイサービス利用者との交流を図っており、利用者の生活にとっていい刺激となっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望する通院・入院・検査・薬等は医療関係のファイルに綴じられています。内科と歯科は隔週に往診してもらっています。緊急時の受け入れ医療機関も決まっております。夜間や緊急時の対応体制は整備されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	食事を口から食べられなくなったり、栄養補助食品を飲めなくなった場合は入院するとの方針を決めており、家族にも説明し理解を得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に対する職員の声かけや職員同士の会話など、プライバシーに対する配慮を行っています。個人情報のファイル等は鍵のかかるところに保管しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	調査員が訪問した際は、利用者と職員で散歩に出かけていました。また、炊き立てのご飯をお仏壇にお供えする利用者もいました。新聞を見る方、パズルをする方、会話を楽しまれる方、利用者はそれぞれが自由に自分の時間を過しています。職員も利用者に合わせて柔軟に支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生協で食材を注文しています。また近隣のスーパーまで利用者と一緒買い物にも出かけます。食事の準備や片付けを利用者と職員が一緒に行い、食事は職員も一緒に摂っています。献立の中には、隣の畑で収穫したサツマイモご飯がありました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は隔日にできるように計画が立てられています。昨日入浴したことを忘れ、「入っていない」と訴える利用者には、否定せず入浴してもらおうなど、利用者一人ひとりにあった対応を心がけています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活記録は、会話形式で記録されているので、利用者の考えがよくわかります。職員は個人の楽しみを知っています。散歩や犬の餌やり、調理の手伝い、片付け、洗濯物をたたむなど、楽しみや役割があります。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やスーパーへの買い物、外食、花の文化園へ行く等、できるだけ日常的に戸外へ出かけられるように支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関も門にも、鍵はかけられていません。チャイムが鳴るとホームで飼っている小型犬のダックスフンド「パール」が飛んでいき、訪問客を出迎えています。非常口はいつも鍵がかかっていますが、緊急時はすぐに開錠できるように、非常口用の鍵は他の鍵とは区別して掛けています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内で災害時マニュアルを作成しています。また避難訓練も実施し、年に1回は消防署の協力で行われています。しかし非常災害時に必要な備蓄の準備までには至っていません。	○	今後は、水や非常食、備品のリストを作成し準備することが求められます。また1年に1回は準備した備蓄品の点検をすることが望まれます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量の記録を行っています。糖尿病の利用者については、病院の栄養士に献立と使用量の記録を持っていき、指導を受け、利用者の栄養について支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	静かな住宅街にある平屋のホームで、玄関や廊下、居間、台所、居室、トイレなど、一般家庭で生活しているような雰囲気を感じます。安全面や自立を考慮し、手摺やすべりにくいカーペットを取り入れるなど、利用者が暮らしやすいよう配慮しています。居室からは庭の花木が眺められ、季節の花が飾られ、居心地よく過ごせる工夫をしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や応接間にはゆったりと座れる椅子があり、居室には、使い慣れたタンスやテーブルがあり、写真やぬいぐるみ等が飾られています。仏壇の持ち込みも数名おられ、お仏飯をお供えし、お経を読まれる利用者もいます。利用者がそれぞれ居心地よく過ごせるよう工夫しています。		